

高知県知事 尾崎 正直 様

和食ダム推進要望書

平成22年1月

芸 西 村

和食ダム推進要望書

当村は、以前から度重なる洪水により、園芸施設の冠水や、少雨による渇水に見舞われるなど、こと「水問題」に関しては抜本的な治水・利水対策が殆ど未解決のままで現在に至っている。このような中、和食ダムは平成4年に調査ダムとして新規採択され、平成15年には建設ダムに昇格採択された治水・利水を目的とした多目的ダムである。採択された当初より和食ダムは、村をはじめ議会や多くの村民の期待を一身に背負い、平成23年度の本体工事着手に向け、官民一体となり取組んでいる。

現在の進捗状況は起業地の用地は全て取得済みで、本体着手に向け付替え道路や工事用道路の延伸を図っているところである。しかし、計画どおりの進捗のためには、なお一層の建設事業費の確保が必要となっている。

また、当村では計画当初より河川課やダム建設事務所と一体となり、地元調整や用地交渉など積極的な支援は勿論、ダム建設に必要な集水区域に進出予定であった産廃施設予定地、(社)考える村の共有地、残土場の用地、プラント用地などの取得に多額の単独予算を投入している。加えて、県・村・地元との覚書にも明記されている「地元環境対策」として、下水道・集会所・公園・公営住宅などの建設や受益関係者への部落道路の改良や用・排水路改良工事など、単独補助も優先して行っているところである。このように当村では、一日も早い治水・利水の目的達成のため補助職員を配置しダム関連予算の確保に注力するなど、早期完成を目指して努力しているところである。

しかしながら、本体着手にもうすぐ手が届くところで、政権交代により建設事業費の大幅削減やハツ場ダムをはじめとする直轄ダムの本体未着手箇所凍結など、ダム事業の進捗を図る当村にとっては逆風となっている状況である。補助ダムは、国が知事の判断を尊重するとしていたが、ダム事業の抜本的な改革の方向性を議論する「今後の治水対策のあり方に関する有識者会議」を創設するなど、不透明感が増している。同会議は今夏に中間報告、23年夏に最終報告がなされる予定で、最新報道では中間報告までに国の判断で補助金削減や打ち切りに踏み切る可能性もあるとの認識も示している。

高知県においては、真に必要な和食ダムの継続要求は勿論、これらの報告の如何にかかわらず、国への積極的な推進要望を願うものである。

平成22年1月28日

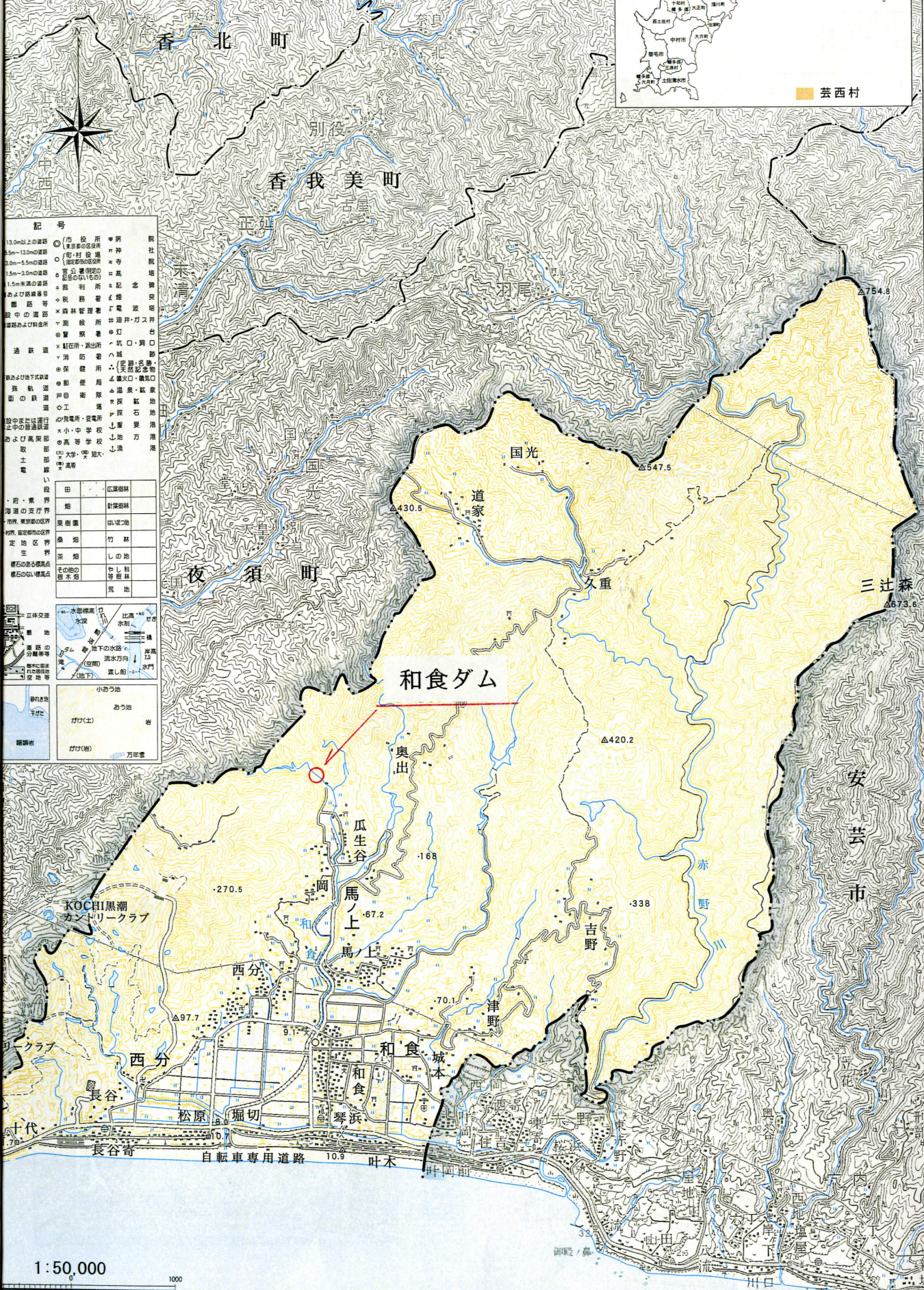
芸西村長 竹内 強



芸西村議会議長 吉永 義量



高知県 安芸郡 芸西村全図



記号

●	市役所	神社	神社
○	町役所	神社	神社
○	村役所	神社	神社
○	町立小学校	神社	神社
○	町立中学校	神社	神社
○	町立高等学校	神社	神社
○	町立大学	神社	神社
○	町立専門学校	神社	神社
○	町立短期大学	神社	神社
○	町立職業大学	神社	神社
○	町立短期大学	神社	神社
○	町立職業大学	神社	神社
○	町立短期大学	神社	神社
○	町立職業大学	神社	神社

田	広葉樹林
畑	針葉樹林
果樹園	竹林
茶畑	その他
その他	荒地

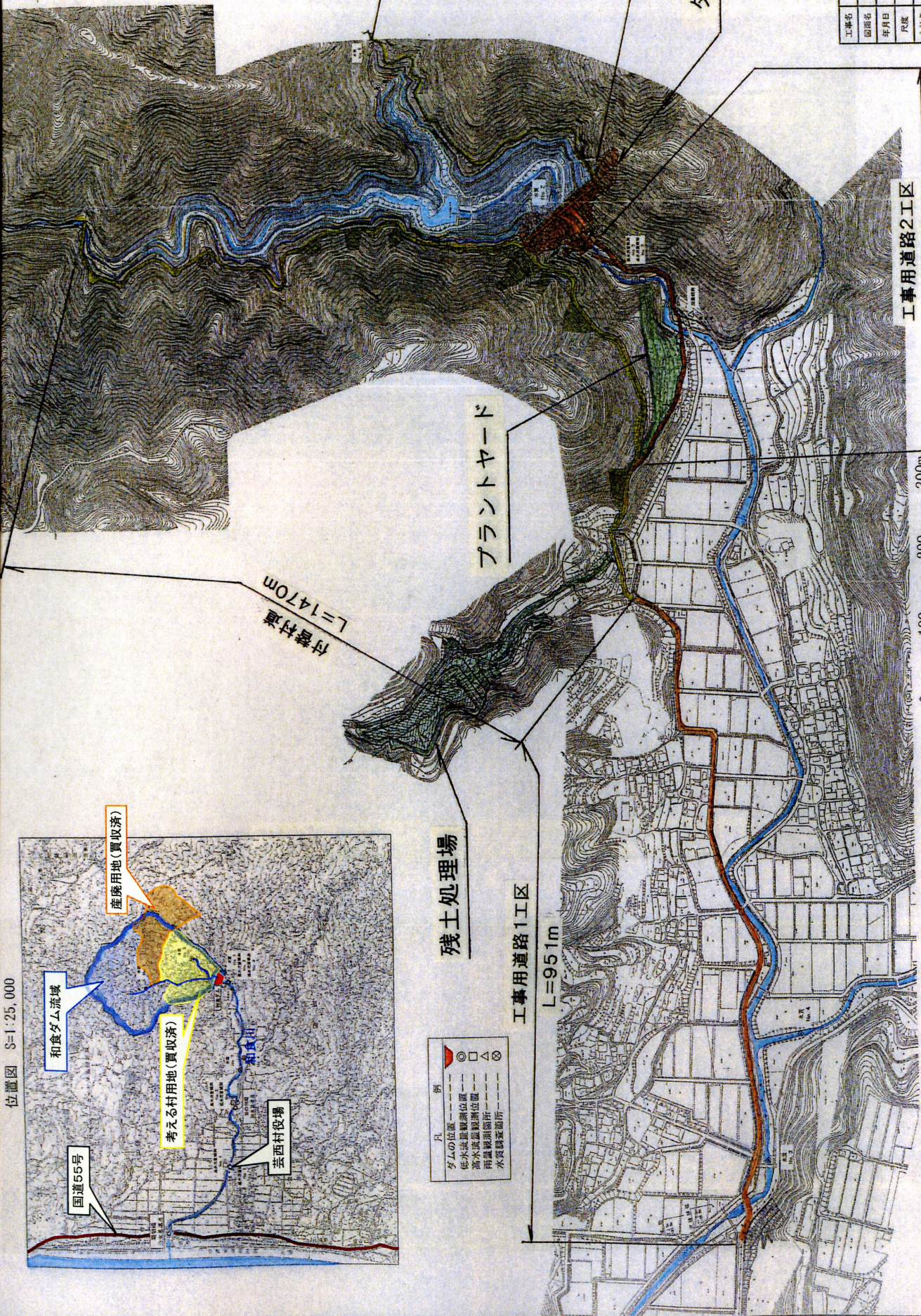
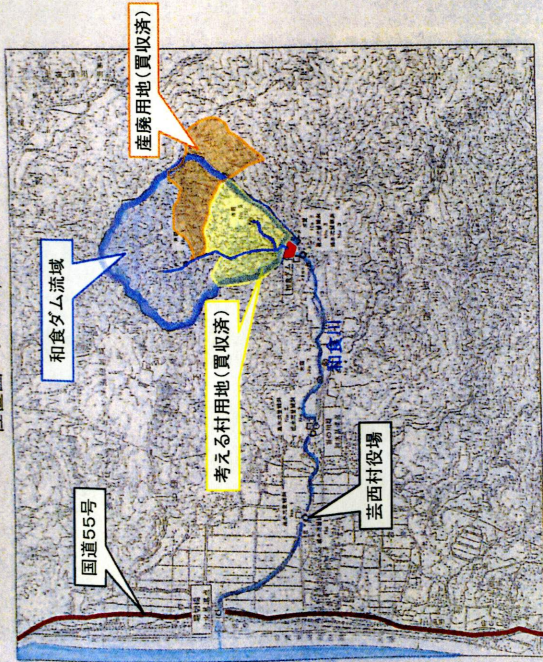
水	水深	比高
水	水深	比高
水	水深	比高
水	水深	比高
水	水深	比高

1:50,000

土地院院長の承認を得て、同院発行の5万分の1地形図を
製したものである。(承認番号 平16四複、第97号)

高知県安芸郡芸西村役場

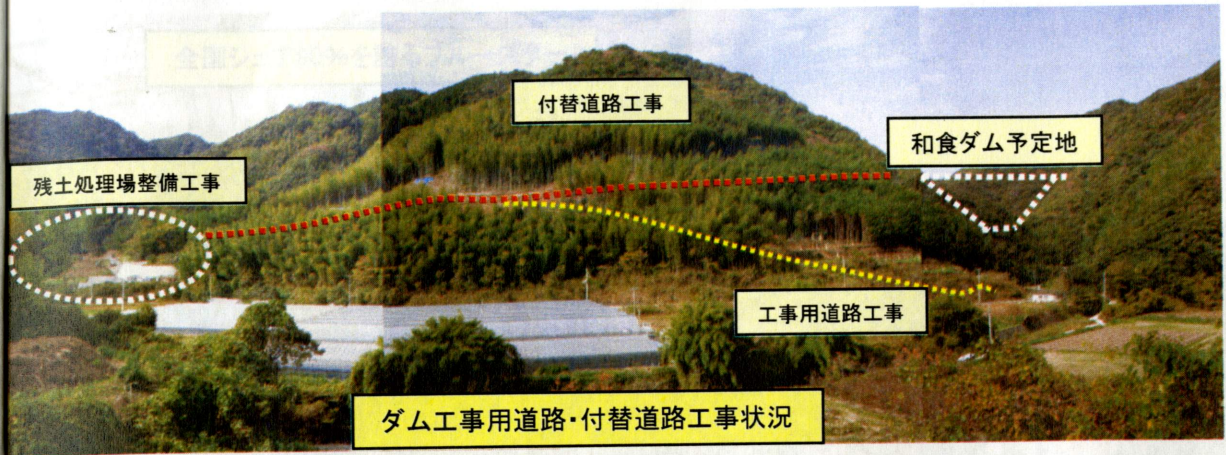
位置図 S=1:25,000



凡 例

	ダム本体
	他水法基礎掘削位置
	前水法基礎掘削位置
	前遺構掘削箇所
	水質調査箇所

工事名	和食ダム 基礎掘削工事		
図面名	年月	月	日
尺慮	1:2,500	図面番号	第22号
会社名	東洋建設株式会社		
事務所名	和食ダム建設事務所		



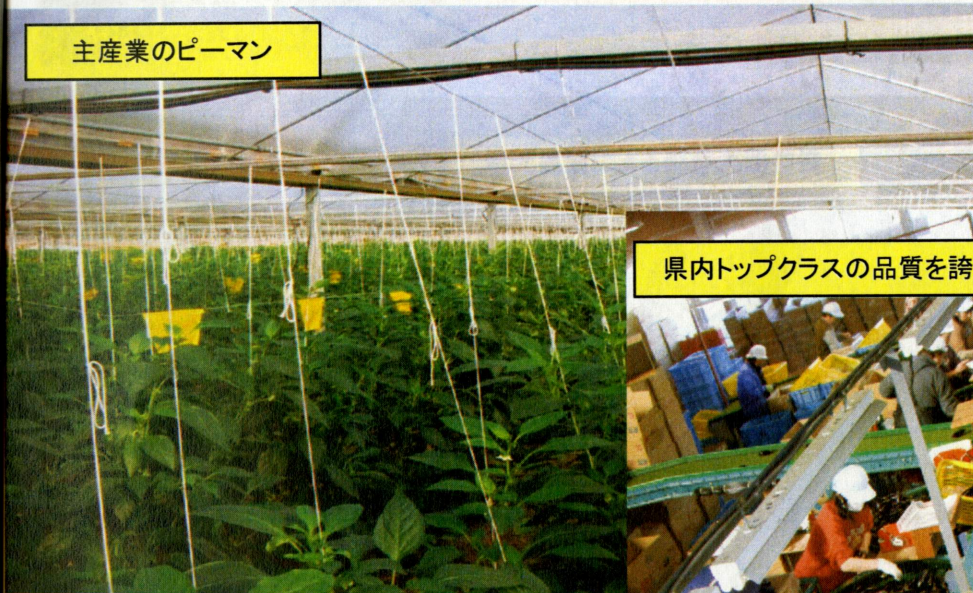
全国シェア90%を誇るブルースター



新品種のトルコギキョウ



主産業のピーマン



県内トップクラスの品質を誇るナスの出荷状況



地元建設された公営住宅・コミュニティセンター



ダム予定地

公営住宅

コミュニティセンター

地元要望による部落道路整備

